



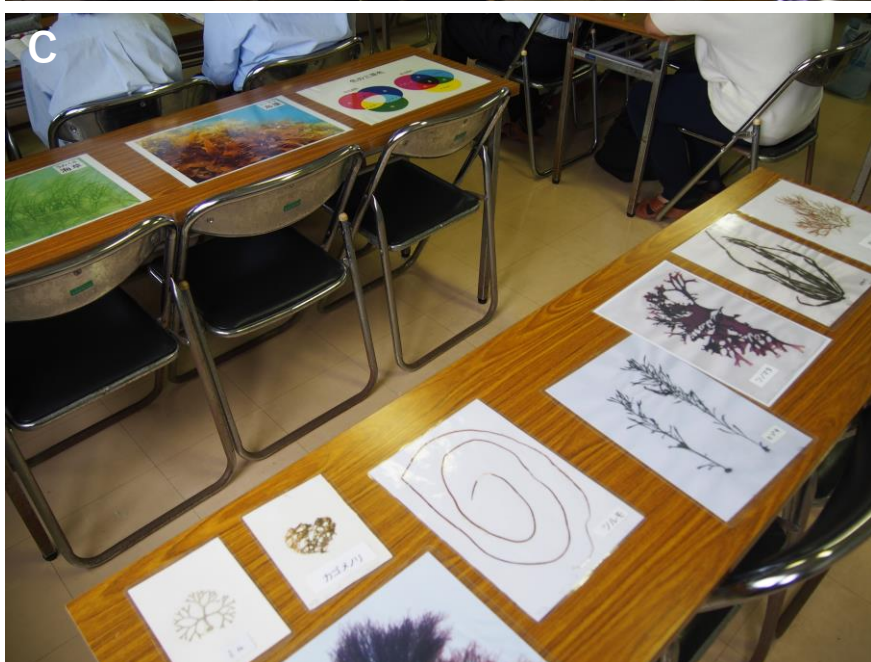
2019年(令和元年)8月29日(木)

SSH先進研究機関訪問研修の一環として、徳島県立徳島科学技術高等学校から学生7名と教員2名が水産実験所に来所しました。

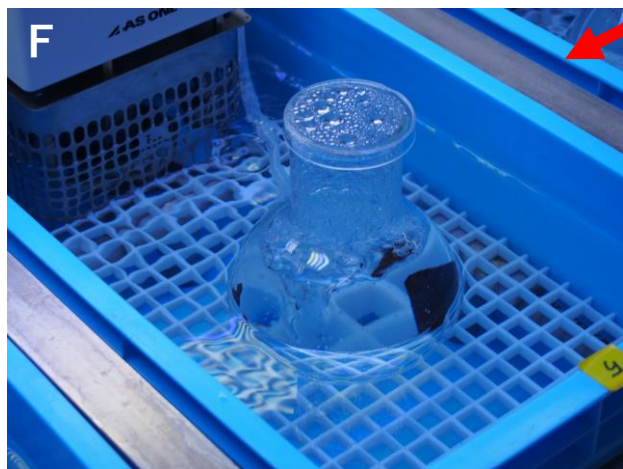
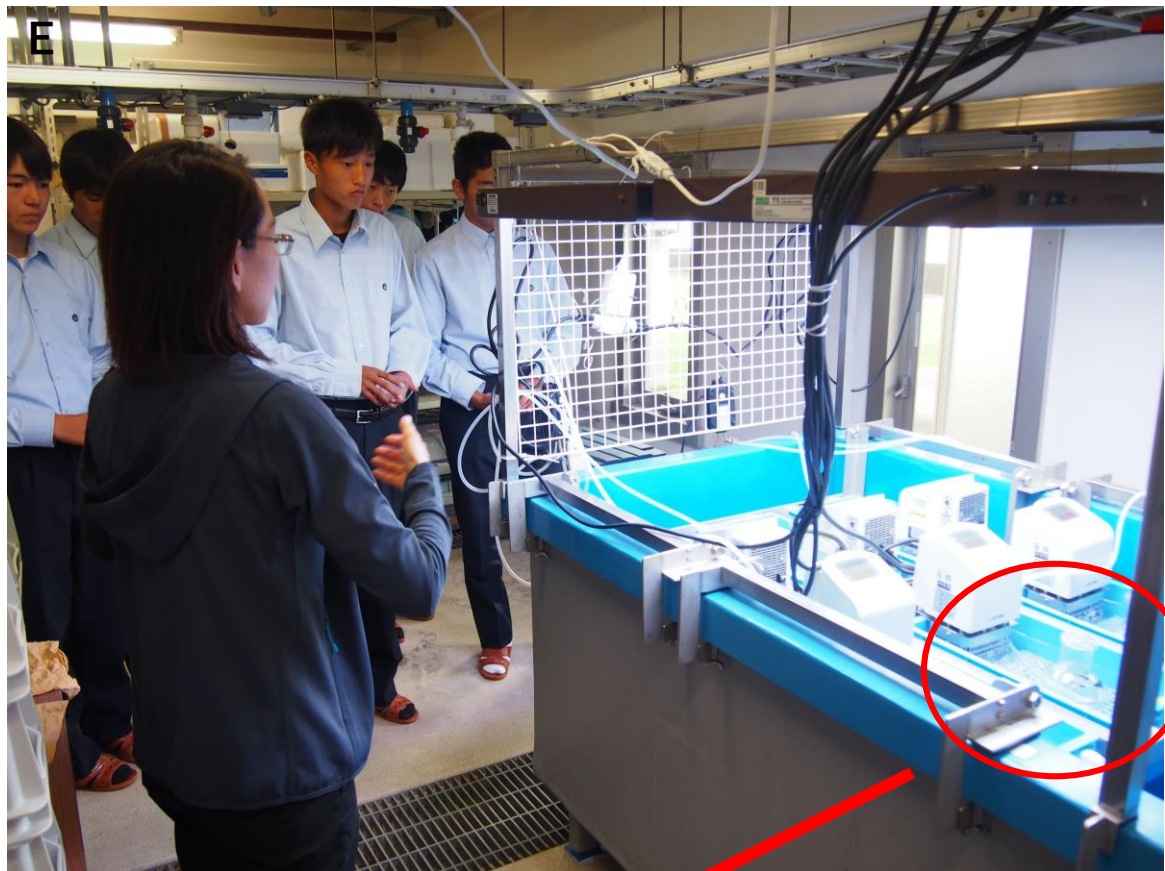
A, B: 加藤准教授によるサンゴと海藻についての講義風景。

C: 講義室後ろには多数の海藻の押し葉標本が展示された。

D: 講義中に回された無節サンゴ藻標本を観察する高校生。







- E:** 海藻（ツノマタ）を使用した、温度耐性実験（水温30～35℃の海水中で一晩インキュベート）。実験飼育装置を前に説明を行う加藤准教授。
- F:** 飼育装置の中で飼育中のツノマタの葉片。
- G:** 異なる水温で飼育されたツノマタの葉片を各温度条件ごとに並べる学生。
- H:** 条件温度順にツノマタをバットに並べ、温度が海藻に与える影響について講義を行う加藤准教授。





- I, J: 応用研究として、これまで行ってきた研究、これから取り組む研究について説明する加藤准教授. 地場産業にどう貢献し、社会に研究結果をいかに還元していくのか? という講義がされました.
- K: サンゴ、海藻について質問をする高校生. 学生から多くの質問が寄せられました.
- L: 徳島県立徳島科学技術高等学校の学生と今回の実習を担当した加藤准教授 & スタッフ.